

Collaborative Designer for SOLIDWORKS®の新機能

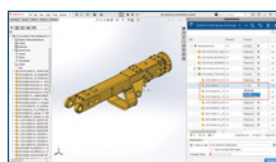


1 柔軟なリビジョン管理スキーム

- 柔軟性に優れた新しいリビジョン形式から選択できるようになったため、製品開発の容易なリビジョン管理とデータガバナンスの強化の両立が可能です。
- プライマリとセカンダリ、2レベルのリビジョンを使用して、構成部品A.1の新規リビジョンをA.2にすることもできます。

メリット

設計基準を満たせるとともに、改善されたリビジョン管理スキームで混乱を回避できます。

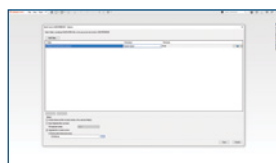


2 外部サプライヤとのデータ交換

- SOLIDWORKS内からシンプルなコマンドを使用して設計プロジェクト全体を共有できるため、3DEXPERIENCEプラットフォーム外のユーザーとのコラボレーションが迅速化されます。
- 3D Driveの統合で、より簡単に外部の関係者とデータを共有できます。
- 共有データへの権限を設定し、データの整合性を制御できます。

メリット

適切な設計データを提供することで、外部サプライヤと簡単かつ安全にやり取りできます。

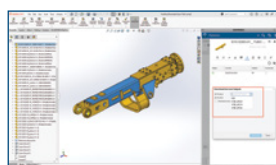


3 一括保存 — Bookmark Editor

- 保存時にコンテンツへのブックマークを定義することで、3DEXPERIENCEプラットフォームへ新たに保存したデータをシームレスに管理および整理できます。
- ローカルフォルダの構造を維持したまま、ローカルフォルダの構成に対応したブックマーク構造でデータを分類できます。

メリット

保存時にブックマークを作成できるため、データ整理の時間を節約できます。

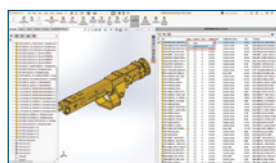


4 派生出力管理

- 管理者コンソールから派生出力用の設定を常に維持できるため、データ共有前にフォーマットの選択が可能です。
- 管理者は、部品や図面用にPDFやSTEPなどの形式を選択できます。
- 非同期または同期ルールの生成を使用して、新たな派生出力ルールを設定できます。

メリット

管理者が定義した統一的な設定を利用して時間を節約できます。



5 ローカル キャッシュ エクスプローラ

- キャッシュされたコンテンツにタスク パネルから直接アクセスし、管理を行うことができます。
- ローカル キャッシュの閲覧と管理が簡単になっており、また、サムネイル画像をグラフィックス領域にすばやくドロップしたり削除したりできます。

メリット

ローカル キャッシュに迅速にアクセスし、管理できます。

